

めざす子供像の実現に向けた共通して取り組みたい指導

D) 郷土愛

- ①健康な心と体
- ②自立心
- ③協同性
- ④道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤社会生活との関わり
- ⑥思考力の芽生え
- ⑦自然との関わり・生命尊重
- ⑧数量や図形、標識や文字への関心・感覚
- ⑨言葉による伝え合い
- ⑩豊かな感性と表現

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
めざす子供の姿		年長児になった喜びを感じ、自分のできることをしようしたり、友達と一緒に取り組んでいく楽しさを感じたりする。 - それぞれのイメージや思いを出しながら自分たちで遊びを進めようとする。 - クラスで過ごすことを楽しみながら、安心感をもちたり、つながりを感じたりしていく。 - 生活の中ですることが分かり、見通しをもって取り組んでいくようになる。		友達同士で刺激し合いながら自分なりの目的をもって遊び、自分の力を伸ばしていく。 - 自分の考えを出したり相手の考えを受け入れたりしながら友達と工夫したり協力したりして、遊ぶ楽しさを感じる。 - 一緒にすることを楽しみながら自分の力を伸ばしていくようになる。 - 身近な事象と関わる中で、変化、仕組み、法則性などについて気付くようになる。 - ものの色や形、性質などに関心をもち、遊びを楽しくするために必要な物を作ったり、探したり、試したりするようになる。		友達と共通の目的に向かい、友達と協力して、遊びを進めていく楽しさを味わう。 - 友達のよさを感じながら共通の目的に向かって遊びを進め、目的を実現し達成感を味わう。 - 思ったり考えたりしたことを相手に分かるように話すとともに、気を付けて人の話を聞くようになる。 - 自分の目標に向かってあきらめず挑戦し、自分の力を伸ばしていくようになる。 - 数量や文字に対して興味や関心をもち、進んで遊びに使うようになる。 - 様々な人との関わりの中で刺激を受けながら、自分の見方や考えを広げる。 - 地域の行事や職場体験等体験したことを遊びに取り入れ、より本物らしく再現できるように追究していくようになる。		遊びや生活を自分たちでつくっていく中で、一人一人のよさが生かされ、クラスの連帯感が深まる。 - 自分達でルールを作り、守って遊びを楽しむようになる。 - グループやクラスの中で、役割を意識して取り組むようになる。 - 自分の成長を感じ園生活の充実感を味わう。 - 就学に向けて期待をもちながら意欲的に過ごす。 - 自分たちの生活に見通しをもち、楽しみながら進めていき、充実感を味わう。 - 友達との遊びを進めながら互いのよさを認め合い、友達と過ごす喜びを感じる。					
		- 身近な自然物に関わり興味や関心を広げ、様々なことに気付いたり、驚いたり、不思議さを感じたり、それを伝えたりするようになる。 - 季節の移り変わりを感じながら、自然に親しんだり遊びに取り入れたりするようになる。											
予想される活動		興味・関心をもって自然物に親しむ 「わあきれい。不思議だね。どうなるのかな」 事例1		水・砂・泥などを使った遊び 「こうしたいから、これ使おう」「やってみたら、こうなったよ」 事例2		身体を使った遊び（運動遊び） 「あとちょっと。もう一回やってみよう」「焼きそばってこうやって料理するよね」 事例3		秋の自然を取り入れた遊び（お店屋さんごっこなど） 「看板も必要だね」 事例4		昔遊び・正月遊び 「今日も挑戦するぞ」「こうするとおもしろいね」 事例5			
指導上の配慮事項		保育者の関わり - やっていこうとする姿や気持ちを認め励ます。 - 一人一人の楽しみ方を受け止める。 - 友達と一緒に遊ぶ楽しさに共感していく。 - 自然物等の気付きを一緒に楽しむ。 - 見通しをもって取り組めるようにする。		一人一人の思いが満足できるような関わりを大切にする - 生活や遊びについて、互いの話を聞き合う場面をつくる。 - 発見や感動に共感する。 - 友達の遊ぶ様子から刺激を得られるようにする。 - 友達の考えを聞いたり自分の思いを伝えたりすることで、新たな視点を見出し出していけるように、いざこざや葛藤の場を大切にする。		- 友達と助け合って取り組んでいる気持ちに共感する。 - 自分の力を出せた喜びや、友達と一緒にやり遂げた満足感が味わえるようにする。 - 行事等は子供の興味や経験が生かせるものにする。 - 目標に向かって頑張りを認めたり一緒に取り組んだりしながら、やってみようとする気持ちを大切にする。 - イメージが実現するような材料や方法を一緒に考え、実現していく喜びが味わえるようにする。		- 互いに認め合い支え合う関係を育む学級の雰囲気をつくる。 - 一人一人が自信をもって行動している姿を認め、就学への期待に共感していくようにする。 - 感動を皆で共有することや伝え合う喜びを、十分に味わえるようにする。					
		環境構成 - 発見や工夫を伝えたり、一緒に調べたりする状況を作る。 - したいことをじっくり楽しめる時間と空間を保障する。 - 栽培・飼育等は、子供と相談しながら決めていく。		- イメージを広げられるよう、様々な素材・材料・遊具の置き場所や数量等を工夫したり、図鑑や写真等を活用したりする。 - 水・砂・泥等の自然物の感触や性質を楽しんだり発見したりできるよう、場の設定や道具の選定など工夫する。 - 繰り返し挑戦しながら、試したり工夫したりできる場を用意する。		- 挑戦する意欲を高める環境を構成したり、友達と協力する状況をつくったりする。 - 体を動かし、挑戦してみたくするような環境を構成したり共に楽しんだりする。 - 探究することを楽しめるよう、多様な素材・材料・遊具を準備したり、場や時間を保障したりする。 - これまでの経験を生かして遊びに必要なものを自分達で選択できる状況をつくったりする。		- 今まで頑張ったことが繰り返し楽しめるような場や遊具を用意する。 - これまでの経験を生かして、友達と遊びを進めていけるような材料や遊具を準備する。 - 遊びを通して数量（時間）や文字に関心がもてるような環境を工夫する。					
地域連携と家庭連携		家庭との信頼関係づくりを大切にする。		- 子供の園での具体的な姿を直接保護者に伝えながら、子供の良いところを家庭と一緒に伸ばそうとする。 - 生活リズムを整えることの大切さについて保護者と共有していく。		- 子供の困り感に対して、園での環境の工夫や保育者の関わり方、友達とのやり取りなどを保護者に具体的に伝えたり、家庭での様子を聞いたりしながら、子供の成長を共に考える。 - 自然との関わり等、豊かな体験が家庭にもつながるように生活の様子を知らせる。		- 就学に向けての不安や困り感に寄り添いながら個別の相談を受ける。 - 学校生活につながるよう、校区を歩くことや持ち物を自分で準備できるよう、家庭と連携して取り組む。					
行事等		子供 先生		子供 先生		子供 先生		子供 先生		子供 先生		子供 先生	
		〇参観日 〇引継ぎ連絡会		〇交流会の打ち合せ		〇交流会 〇交流会		〇交流会		〇一日入学 〇引継ぎ連絡会		〇卒園式 〇要録	

